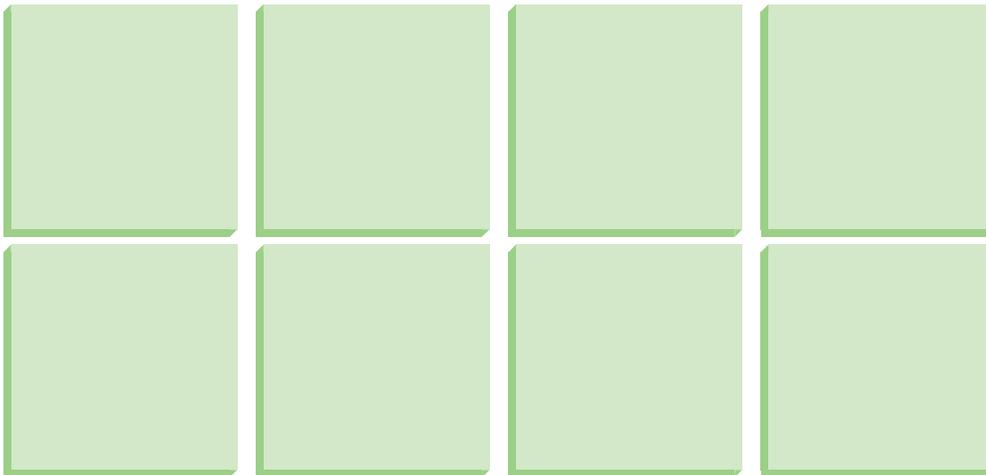


平成19年度

香歯ポストグラジュエートセミナー

日本歯科麻酔学会バイタルサインセミナー



平成19年9月9日（日）

午前10時より

香川県歯科医師会館東館

主 催

社団法人
有限責任
中間法人

香川県歯科医師会
日本歯科麻酔学会

■御挨拶



香川県歯科医師会

会長 山下 喜世弘

月日がたつのは早いもので、今年度も翌月から後半期を迎えることになりました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、本年度第2回目のポストグラジュエートセミナーは日本歯科麻酔学会との共催で「バイタルサインセミナー」を企画いたしました。講師には静岡県障害者歯科保健センターの服部清先生と、日本歯科大学教授 住友雅人先生をお招きしてご講演をお願いしております。さらに、ご講演後には「診療室での医療安全とその具体策」と題して総合討論会を予定しております。

高齢者や有病者の歯科治療を行う機会が増加している昨今、以前にも増して患者さんの安全を確保する責任と義務が我々歯科医師およびスタッフに求められるようになっております。そのためには、術前に患者さんの全身状態を把握しておくことのみならず、術中の全身状態を監視して不測の事態に的確に対処する必要があります。今回のセミナーは、安全な医療を患者さんへ提供するために必ずやお役にたつものと思っております。

日々の診療でお疲れのこととは存じますが、スタッフの皆様も一緒に是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。最後になりましたが、今回のセミナーを共催していただきました日本歯科麻酔学会の関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

■プログラム

10：00	開 会	学術担当常務理事 蓮井 義則
	挨拶	香川県歯科医師会会長 山下喜世弘
		日本歯科麻酔学会地域医療担当理事 望月 亮
10：15		座長 蓮井 義則
┆		「明日からできる危機管理（クライシスマネジメント）」
		静岡市障害者歯科保健センター 服部 清
12：15		
┆		昼食、企業展示など
13：30		座長 日本歯科麻酔学会地域医療委員 津田 政尚
┆		「バイタルサイン、活きた用い方」
		日本歯科大学教授 住友 雅人
15：00		
┆	休 憩	
15：10		
┆	総合討論会	
		「診療室での医療安全とその具体策」
16：00	閉 会	香川県歯科医師会副会長 武部 裕光

明日からできる危機管理(クライシスマネジメント)



静岡市障害者歯科保健センター 服部 清

■講演抄録

バイタルサインセミナーは、歯科医療の場面における危機管理の原則である「どのようにして危険を予見して回避するか」のためのセミナーです。危機管理の専門家である佐々淳行氏は、情報収集活動の重要性を挙げていますが、より重要なのは静態情報より動態情報であるとしています。歯科医療現場では、初診時の医療面接や他の医療機関との連携による情報収集がこれにあたりますが、日常の診療場面で先生方はすでに行われていると思います。しかし、いざ医療行為を行う際には「静態情報」あるいは「古い情報」となりがちで、判断材料としては、十分に活用できていないのではないのでしょうか。今回私は、基礎情報を「動態情報」として活用するための工夫や医療面接以外での情報収集の方法など、明日からの診療場面で役立つ「動態情報」になるお話を提供できればと思います。

■略 歴

平成4年 福岡県立九州歯科大学歯学部卒業
平成4年 福岡県立九州歯科大学附属病院臨床研修医
平成9年 福岡県立九州歯科大学歯学部大学院（歯科麻酔学講座）卒業
平成10年 昭和大学口腔衛生学教室 摂食・嚥下リハビリテーション特別研修生
平成11年 神奈川県立こども医療センター専門研修医
平成14年 特殊法人心身障害者福祉協会国立コロニーのぞみの園診療所歯科勤務
平成16年 静岡市保健衛生部健康づくり推進課 母子保健担当 主幹
平成17年 静岡市障害者歯科保健センター 勤務 現在にいたる

日本歯科麻酔学会認定医・日本障害者歯科学会認定医

バイタルサイン、活きた使い方



日本歯科大学附属病院 歯科麻酔・全身管理科 教授

住友 雅人

■講演抄録

「Vital Sign (バイタルサイン)」の日本語訳は「生命徴候」で、これは、血圧、心拍(≒脈拍)、呼吸、体温そして場合によっては意識を加える。

歯科診療に際し、これらのバイタルサインの把握が重要だということは、医療従事者は耳にタコができるほど聞かされているが、実際の診療では実施されていないといわれていたり、思われている。本当にそうであるか？答えは「NO」。歯科診療の現場では意識、無意識的に行われているのである。患者さんからのバイタルサインの申告もあるが、医療従事者は「大丈夫ですか」「苦しくないですか」「どきどきしていませんか」などの問いかけによって、そして顔色や動きを見て(診て)の情報から、患者の異常をすばやく発見し、偶発症などを未然に防いでいるのである。

さて、それではなぜバイタルサインのチェックが行われていないといわれるかは、いわゆる機器によるモニタリングを実施していることが少ないことに起因している。その理由は「モニタ機器の購入に多くの費用がかかる」「操作が面倒」「データの意味するところがよく判らない」「装置を付けることを患者が嫌がる」などであり、医療者側、患者側ともそれを有効に活用する体制が整っていない。しかし、モニター機器導入の意義は大きい。医療スタッフを含めて、患者の客観的な生体情報が共有化できるところが、とりわけ安心、安全の医療の推進につながる。

今回のセミナーでは、バイタルサイン活用の実際についての再認識を得ることを目的とする。

■略 歴

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 昭和48年 3月 | 日本歯科大学大学院修了(歯科理工学専攻) |
| | 歯学博士 |
| 昭和48年 4月 | 日本歯科大学歯学部 口腔外科第I講座 助手 |
| 昭和50年 4月 | 日本歯科大学歯学部 歯科麻酔学教室 講師 |
| 昭和53年 4月 | 日本歯科大学歯学部 歯科麻酔学教室 助教授 |
| 平成 8年 5月 | 日本歯科大学歯学部 共同利用研究所 教授
(歯科麻酔学併任) |
| 平成13年 1月 | 日本歯科大学附属病院 総合診療科 教授 |
| 平成13年 4月 | 日本歯科大学附属病院 病院長(現在に至る) |
| 平成19年 4月 | 日本歯科大学附属病院 歯科麻酔・全身管理科 教授 |

■ MEMO



■今後の予定

第3回香歯ポストグラジュエートセミナー

主催 香川県歯科医師会
日時 平成19年9月30日（日）10時～15時
会場 社団法人香川県歯科医師会東館
講師 井上孝（東京歯科大学臨床検査学講座）
演題 口腔病変の病因と病態 一歯髄覆髄からインプラントの骨新生まで—
対象 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士

四国地区歯科医学大会

平成19年10月8日（月・祝）
徳島県歯科医師会

第7回日本医療管理学会支部総会・学術大会

平成19年10月21日（日）
医療管理部・医療管理学会学会四国支部主催・香歯東館

香歯救命救急研修会

平成19年11月11日（日）
香歯西館

第27回日本口腔インプラント学会中国四国支部大会

平成19年12月2日（日）
香川大学主催・香川県社会福祉総合センター

日歯生涯研修セミナー：四国地区

平成20年1月27日（日）
愛媛県歯科医師会

香川県歯科医学大会・四国デンタルショー

平成20年2月3日（日）
香歯東館